



# イマージョン教育の推進について

## ～八町小学校イマージョン教育コースの 取り組み状況、成果・課題～

令和3年11月22日  
教育部 学校教育課

# イマージョン教育とは

## ○イマージョン教育とは

- ・ 未習得の言語を身につける学習方法
- ・ 目標とする言語で教科を学び、その言語に浸りきった状態 (イマージョン)での言語習得を目指す

## ○ 豊橋版のイマージョン教育コースでは

- ・ **文部科学省教育課程特例校**の認可を受け、学習指導要領の内容(国語、道徳以外)を、英語を用いて学習する

- 英語のコミュニケーション力を自分の長所として生かし、グローバル社会で活躍することができる子どもを育成することを目的とします。



世界にはばたく子の育成

# イマージョン教育コースで目ざす姿



学年 Grade	目ざす姿 Students' Goals / CAN-DO
6	他者と積極的に関わることで、自らの考えを深めたり思いを発信したりすることができる <b>H</b> appy to engage in flexible communication
5	他者に配慮し、積極的に発信することができる <b>A</b> ctively participate in presentations and speeches
4	授業の中で、英語で理解・表現するための複数の方法を粘り強く模索することができる <b>T</b> ake the opportunity to communicate in many ways
3	英語でのコミュニケーション場面をとらえ、挑戦することができる <b>C</b> hallenge their skills so they can improve
2	英語を使い、積極的に学習に取り組むことができる <b>H</b> ave a positive attitude towards using English
1	八町小イマージョンに慣れ、英語環境に親しむことができる <b>O</b> pen their minds to English

# イマージョン教育コースの進め方

## ■ 学習面

- 学年に応じて、教科のポイントとなる単語、重要語句等については、日本語も併用する。
- 体育や音楽などの実技科目は、通常クラスとイマージョン教育クラスと合同で行う場合もある。
- 個人に配付するものは、各自の状況や保護者の要請に合わせ、英語表記か日本語表記のどちらかを選択できる。

## ■ 生活面

- 学校行事、集会、清掃などにおいても、同学年の通常クラスとイマージョン教育クラスの児童ができるだけ交流できるようにする。
- 登校は、公共交通機関で登校する通学班と、徒歩により八町校区の児童と合流する通学班に分かれる。

# 令和3年度 教員・NETの配置について

○教員の配置・・・各学年1名の学級担任(計6名)

○NETの配置・・・各学年1名のNET(計6名)

※NET = Native English Teacher

○イマージョン教務主任・・・1名配置

○教材準備、翻訳等・・・2名配置



# イマージョン教育コース在籍児童数

## 令和3年度の在籍児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
在籍数(一般)	20	20	20	20	18	12
在籍数(特別)	6	3	6	6	2	3
合計	26	23	26	26	20	15

## 令和4年度の募集人数と応募数

	新1年	新2年	新3年	新4年	新5年	新6年
募集人数(一般) <内:八町校区枠>	20 <5>	0	0	0	0	2
応募人数(一般) <内:八町校区枠>	44 <15>	10	6	5	2	1
募集人数(特別)	6	0	3	0	0	4
応募人数(特別)	3					

※2年生以降の特別枠は、年度途中の入級となるため、抽選は行わない。

# イマージョン教育コース 授業の様子

動画を挿入





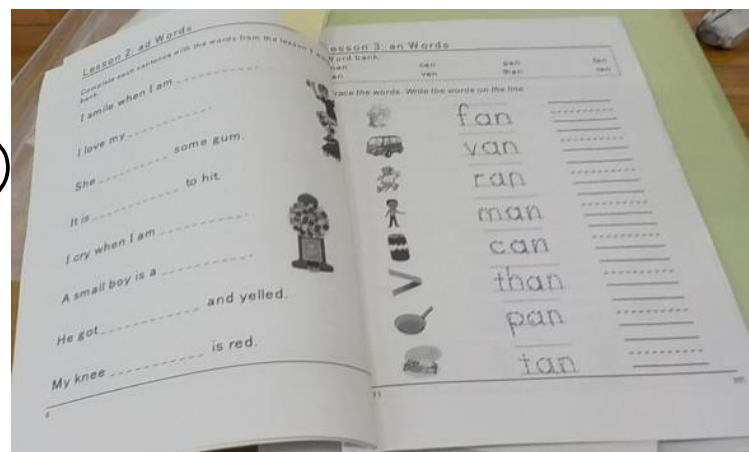
## 児童のコミュニケーション能力の向上

### ○ 系統的・効率的に学習が進められるようなカリキュラムの作成

- ・補充英語カリキュラム(1～3年)
- ・朝の英語活動「English Time」(1～6年)

### ○ 自己表現活動の充実

- ・英語による「お話タイム」(1～6年)の実施
- ・文字指導(1～3年)及び自己表現(4～6年)の充実



2年生で、練習ノートを使って、  
文字指導をしています！

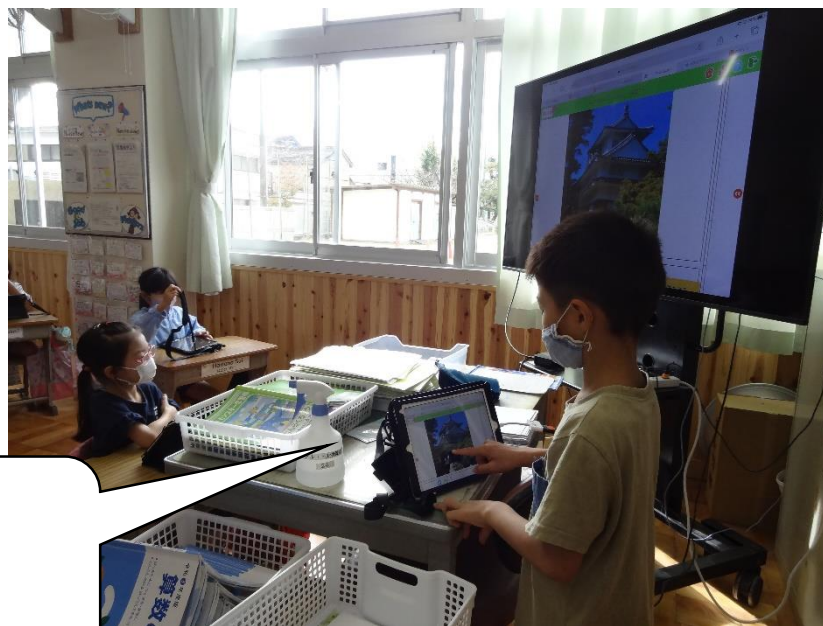
## 教科等の学習内容の定着

### ○ 視覚支援やタブレットの有効活用

- ・パワーポイント等を活用した授業における視覚支援の継続

### ○ 個別最適化学習の充実

- ・家庭学習におけるEライブラリやコラボノートの活用



タブレットを活用して、  
調べたことを発表しました！

## 通常学級とイマージョン教育クラスとの交流

### ○ 合同授業の充実と学校行事での交流

- ・体育や総合的な学習での合同授業の実施
- ・校外学習、行事、縦割り活動での交流



生活科の学習で、一緒に  
校区たんけん活動をしました！

## ■ 学習面

- 児童は、英語での説明をほぼ理解できている。簡単な受け答えや発言を英語で言えるようになっている。
- 高学年では、自分の意見を英語で積極的に表現しようとする姿勢が見られる。
- 少人数クラスのため、英語を使った授業でもきめ細かな指導ができており、概ねつまずき等なく学習できている。
- ▼ 通常学級との進度に差が出てしまうこともあった。
- ▼ 日本人教員とNETとの打ち合わせ時間が必要であり、英語の補助プリントや視覚支援資料の作成など、授業準備に時間がかかる。

○⇒成果、プラスの意見、▼⇒今後の課題解決につながる意見

## ■生活面

- 充実した学校生活を送っている。少人数指導、級友からの刺激で学習意欲も向上している。
- ▼ 通常学級とイマージョン教育クラスの交流をもっとしてほしい。

## ■制度面

- イマージョン教育についてはよい取り組みだと感じている。自分の地域にこのようなコースがあれば、子どもを通わせたい。
- 子どもの数が増え、学校存続の未来を感じた。
- ▼ 校区外の児童の通学方法について、検討を希望する。

# 成果

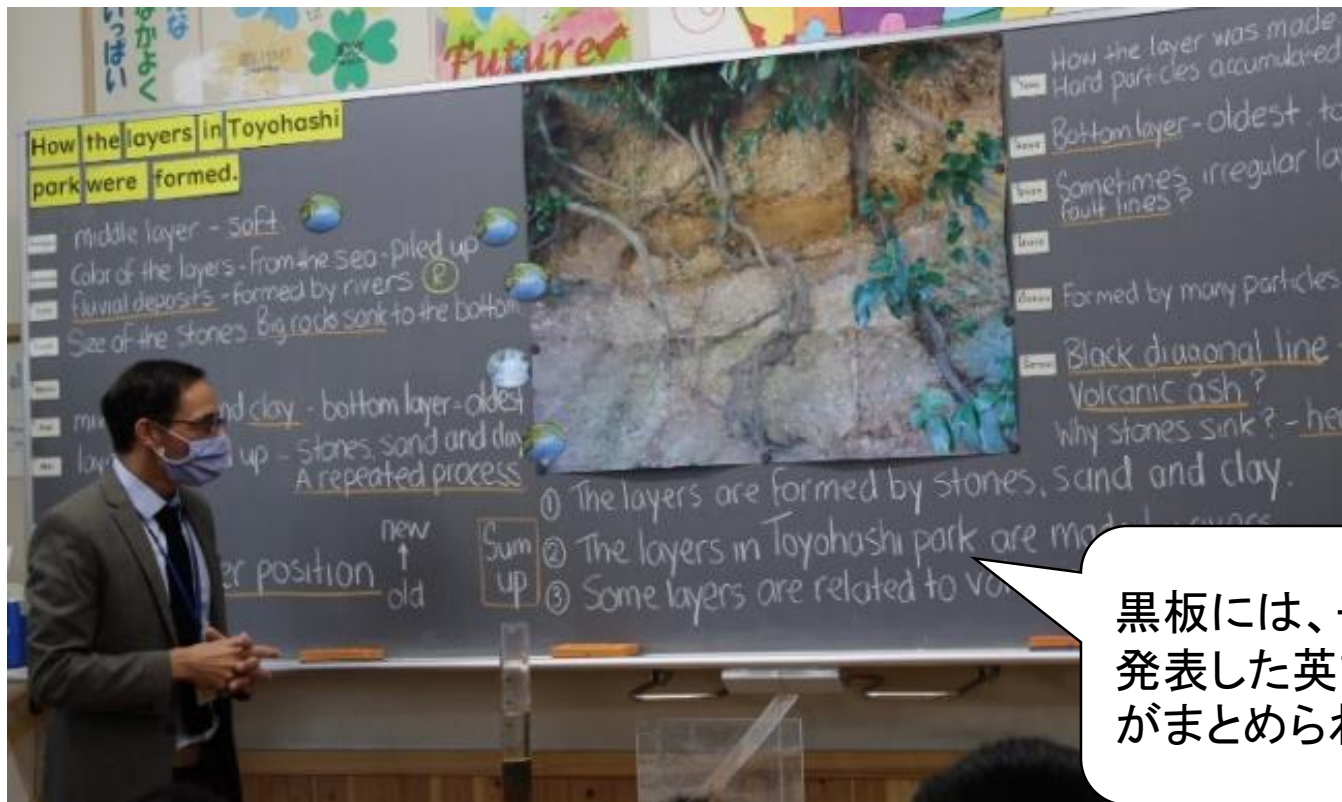
- 高学年では、教科で使う専門的な語句の英語表現をすすんで調べ、自分の意見を英語で伝える力がついてきている。



理科の学習では、  
volcanic ash(火山灰)、  
fault line(断層)など専門  
的な語句も使って英語で  
話し合いをしました。

# 成果

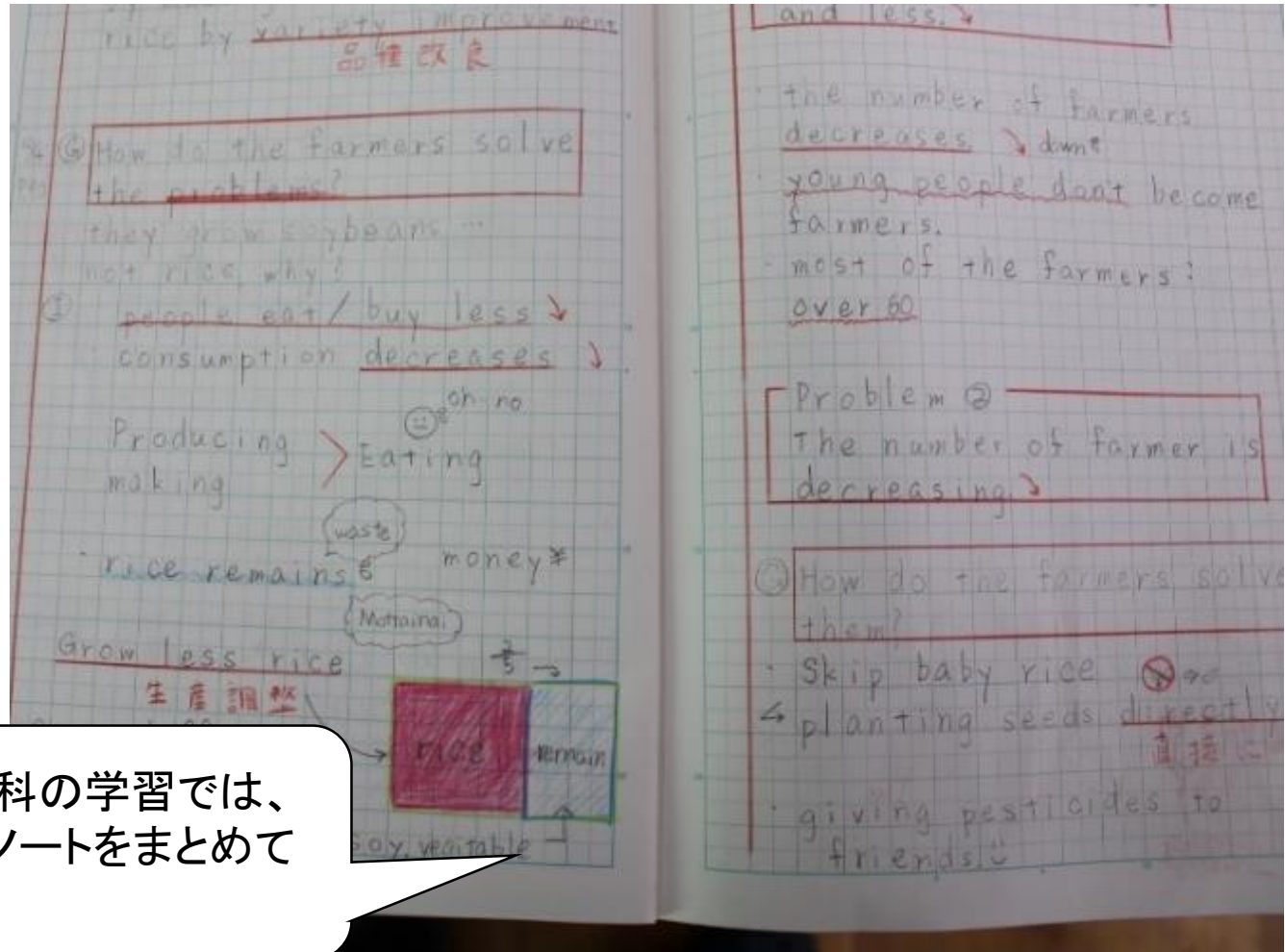
- 授業の中で日常的に英語に触れることで、英語を聞いて理解する力と英語の語彙力が飛躍的に伸びている。



黒板には、子どもたちが発表した英語による意見がまとめられています！

# 成果

- 授業内容を自主的に英語でノートにまとめる児童がいる。



5年生の社会科の学習では、  
英語を使ってノートをまとめて  
います！



# 成果

- 4～6年生では、英語による日記に取り組み、英語で表現する力が伸びている。

6年生の児童の日記には、今日の出来事や感じたことが英語でつづられています！

あすの学習予定			速らく(学校から・家庭から)	
時間	教科	あすの学習で使う物		
1	P.E.	100m run	PE. Cloths	
2	Art	Bronze sewing ↓ Grade /class photos		
			生活のめあて	○×
			あいさつをしっかりする。	
			わすれ物はしない。	
		ding ⑧		
		NB ④②		
		th drill ④①		
きょうの一日	today	we went home early! ☺	Wow, I want to try it. It should be nice taste.	
	So, when I was doing my H.W. and (studying)			
	my mom made some vintage chocolate chip			
	biscuits for my family! ☺ it's a recipe from BBC good food			
	It was tasty. ☺	I always read the BBC website everyday.		
	心に残ったことを書こう	I love to read the football news. ⑧		

# 課題と今後の対応

- ・イマージョン教育コースの成果の共有
  - ☞ 市内の教職員研修での成果の共有
  - ☞ 児童を対象としたオンラインでの授業体験や  
夏季休業中の英語体験活動の実施
- ・授業実施にあたり日本人教員とNETとの打ち合わせ時間等の確保
  - ☞ 人的支援の充実
- ・校区外の児童の集合場所についての検討
  - ☞ 校区外通学をする児童の居住地を踏まえ、新たな集合場所の検討